

「肺*Mycobacterium abscessus* 症に対するクロファジミン併用治療におけるQT延長のリスク因子の探索」

臨床研究へのご協力のお願い

肺 *Mycobacterium abscessus* 症と診断され、クロファジミン（ランプレン®）を含む治療を行われた患者さんにはQT延長という心電図異常の副作用が現れることがあります。一般的にQT延長は抗不整脈薬などの薬物や徐脈、電解質異常などが原因で起こることがあり、まれにトルサード・ド・ポワントという危険な不整脈につながる可能性があります。

肺 *Mycobacterium abscessus* 症においてクロファジミンは非常に重要な治療薬ですので、東名古屋病院ではQT延長が生じていないか定期的な心電図検査を行なっています。このQT延長が起りやすい原因を検索することは、今後の肺 *Mycobacterium abscessus* 症治療を受ける患者さんにとって有用な情報になると考えております。

調査対象は2022年8月1日～2025年7月31日の間に東名古屋病院でクロファジミンを含む治療を導入された患者さんとし、年齢、性別、既往歴、服用薬、臨床検査値、副作用症状について診療録より情報を取得します。

本研究では、日常診療として行っている内容を振り返って検討するものであり、これにより患者さんに新たな負担が生じることはありません。患者さんの個々の情報は匿名化された状態で取り扱われます。専門の学会や学術情報誌に発表されることもありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際に患者さんの個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

ご自身のデータを研究に使わないで欲しいと希望される場合は、下記の連絡先までご連絡ください。患者さんに関するデータは削除いたします。データ利用を拒まれることで患者さんに不利益は生じません。ただし、すでに研究発表が論文などで公表されている場合には、その結果を訂正できませんのでご了承ください。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧されたい場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒465-8620 愛知県名古屋市名東区梅森坂 5-101

国立病院機構東名古屋病院 薬剤部

研究責任者 地田 凌

電話番号：052-801-1151（代表）